

（発行所）
 青山同窓会
 〒951 新潟市関屋下川原町2-635
 新潟県立新潟高等学校内
 TEL 025-266-5268
 FAX 025-266-5268
 （編集、発行人）
 上村光司
 （印刷所）
 オリオン印刷 ㈱
 〒950 新潟市南出来島1-19-1
 TEL 025-283-2151
 FAX 025-283-3804

あいらさし

青山同窓会会長

37回 鈴木正一



良くやつていく姿に感動すら覚えることがあります。

準備をされる実行委員の方々、総会へ勧誘して下さる各期幹事の皆さん、そして総会にかかわる皆様方のご奉仕により、今年も立派な総会を迎えることができました。本当にあり

暑中お見舞い申し上げます。会員の皆様には、暑さに負けず、お元気で、各方面にご活躍のこととお喜び申し上げます。

年に一度、七夕の頃になると総会で皆さんにお会いできる機会に恵まれ、私のみならず、皆様がよく日々を迎えて欲しいと切に思います。

青山同窓会 新人歓迎会 開催される

さる六月十七日夕刻より、恒例の東京青山同窓会新人歓迎会が日本橋の東洋経済ビル



東京方面で学ぶ百二回生百名程が参集し、大先輩方から盛大な歓迎を受けました。母校からは旧担任を代表して小林・小島両先生が駆けつけてくださいました。

会長齋藤伸雄氏（44回卒）の挨拶のあと、齋藤英四郎名誉会長（36回卒）が故郷の困難さをしみじみと語られ、自分のことだけでなく人のためになることを実践することの大切さを新人達に訴えかけられました。新人達は真新しいスーツを着る者、普段着の者とさまざまでありましたが、目を輝かせて大先輩の話に聞き入っていました。講演では一龍グループ代表の三浦愛三氏（62回卒）が、今日隆盛をきわめる屋台村をはじめて創るまでの波乱万丈の人生を熱を込めて語ってください、不



屈の精神を持って生きることの大切さを訴えかけられました。新人達は迫力ある話に感銘深く聞き入っていました。つづく懇親会では和気藹々とした雰囲気の中で、同窓生同士が年齢の差を越え、以前から旧知の間柄であったかのように杯を交わし、歓談しておりました。同じ学び舎で学んだというだけで、心が通じ合うという「青山」のすばらしい伝統が会場に溢れていました。

先輩方の暖かい励ましに、新人達はあらためて「青山」の伝統のすばらしさに感動し、同窓会員としての自覚を新たにしていました。最後に学年幹事古泉謙太郎君（東大文工）と伊藤倫子さん（明大商）を選出し、閉会いたしました。新人達は級友との再会を心から喜ぶとともに、先輩方の思いやりの心を胸に、三三五五夜の巷へと散っていきました。

真摯に物事に取り組んでいるというお誉めの言葉も先輩方から頂戴いたしました。歓談を通して先輩方からいただいたよきアドバイスを新人達はこれからの大学生活の中で必ずや生かしていくことと思います。先輩方につづいて新人の高橋太郎君（東大理Ⅱ）が壇上に入り、応援団でならした大きな声をとどろかすと、会場は歌声の渦となりました。校歌・応援歌・凱旋歌と懐かしい歌の数々が次から次へと歌われ、東京の夜空にいつまでも「青山」がこだましていました。

おめでとう平田大六(60回)さん

年) 7 月 5 日 (火曜日) (日刊) 新 潟 日

飯豊の自然守り山岳救助35年

平田さん 関川 総理大臣表彰



「仲間の力が大きかった。総理大臣表彰はみんなを代表したものだと思っている」と話す平田さん

飯豊連峰を中心に三十五 酒造会社社長、平田大六さ 官邸で総理大臣表彰され 年間にわたって山岳遭難者 ん(お)は、「国民安全の日」 た。全国の十六人、九団体 の救助活動や自然保護「努 の一日、安全思想の普及な の一人で本県からはた一 めてきた岩船関川村小兒の どの功労者として総理大臣 人選ばれた。

いつも青山同窓会会報紙上に、たのしい「ハイティーン水 泳」を連載されている、水のイメージの強い平田さんである

が、この度、山岳救助35年の功をたたえられ、総理大臣より 表彰されました。本当におめでとうございました。

平田さんは、昭和三十四 年から関川村山の会、岩船 地方山岳遭難対策協議会に 所属し、遭難防止対策、救 助訓練などに携わってき た。現在は、県山岳協合理 事長、山の会会長、同協議 会副会長として第一線で活 躍しながら後進の指導に当 っている。

総理大臣表彰について平 田さんは「遭難救助は一人 でできるものではなく、仲 間の力が大きかった。月並 みの言い方でなく、本当に みんなの代表として表彰さ れたものだ」と想いと控え めに言う。

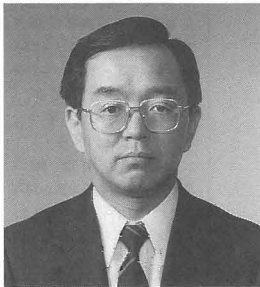
「山は道楽」が口癖の平 田さんは、昭和三十八年か ら環境庁の自然公園指導員 として安全登山の指導や自 然保護に尽力し、二年前、 環境庁長官表彰された。大 好きな山と付き合っていて 長官、総理大臣表彰された ようなもので、「照れる。 今後は「役職を離れて山

動したのは十四回に上る。 大半は飯豊連峰杉森(えぶ りさし)岳での遭難で無事 に救出できたことよりも遺 体収容のケースが多かつ た。「若い人が体力的に無 理をしたのか、疲労による 病死が多かった。生きていると思っ ている家族に第一 報を連絡するのは実に切な いものです。私は、あんな り切ないで連絡役はやり ませんでした。また、遺体 を家族に引き渡すときもつ らかったですね」としんみ りと振り返る。

7月5日 報 日 朝 刊 掲 載

般で、商業、金融、 経営研究の各部会を 担当されます。なお、 この度の人事で和田 迪雄氏(55回卒)は 副会頭を退任されま したが、中野 進氏 (57回卒)、遠藤整 治氏(58回卒) 両副 会頭は留任されまし た。これからの新潟

商工会議所副会頭に 敦井栄一氏選任さる



去る7月1日開催された新 潟商工会議所の臨時議員総会 の、役員人事で、敦井栄一氏 (69回卒、北陸ガス株式会社 代表取締役社長) が新しく、 副会頭に選任されました。主 担当は、金融を含む商業全 市の発展には、地域だけに止 まらない、敦井栄一氏の、今 まで青年会議所の活躍の中で 築かれた、日本全国での人脉 を生かしての、リーダーシッ プが大いに期待されることろ です。ご活躍を期待致します。

職員の異動

(平成六年四月)

全日制	退職	転出	転出先
教諭	上村長生		退職
伊藤 敏			
伊藤義文			松代高教頭
高橋伸二			中条高
横瀬 功			巻高
石井 登			県教委保健 体育課
非常勤講師	関根彰圓		退職
通信制	長沢恵依子		
教諭	加藤寿一		新潟江南高
非常勤講師	小田キミ		退職
大野亮子			
事務	齊藤かおり		教育庁福 利課
全日制	転入	転入先	
教頭	渡辺 憲		巻高
教諭	武田英徳		新潟中央高
吉原正行			新発田南高
君伸一郎			村上高
高須洋子			新発田高
山田 武			新採用
山田 栄			新潟南高
小池俊顕			高志高
非常勤講師	曾我 浩		新採用
山田洋宜			
塩谷知江子			
富永浩子			
通信制			
教諭	坂井陽一		新潟江南高
常勤講師	塩谷知江子		新採用
非常勤講師	富永浩子		
事務	小林英美		新採用

＝追悼＝

石塚英男君を偲ぶ

東京青山七五期学年幹事

高橋 正 (画家 白鳥十三)



石塚英男君が死んだ。彼が死んで一ヶ月以上経つのにまだ信じられない。毎日顔を合わしていた訳ではないので、いまでも電話が掛かってくる気がする。会社から、くも膜下出血で入院しているが、手術も成功しもうすぐ退院できると連絡が入ったのが、四月十一日だったと思う。私はすぐ病院へ電話を入れ彼と話した。

「ヨウ！生き返ったよ」「大変だったなあ、すごい頭痛がするっていうけど、どうだった？」「……」「運が良かったなあ」「来週退院するから早く見舞いに来ないと間に合わないぞ」少し覇気はなかったが、いつもの彼らしい口調で話すので、私は安心し近々見舞いに行く事を約束して電話を切った。翌日、奥様から会社を通じしばらく見舞いを遠慮してくれるよう伝言が入り、彼一人が楽観的に判断していることが察しられた。案

の定、十五日に、二回目の脳内出血があり、意識不明のまま四月二十三日、帰らぬ人となってしまった。超人的なバイタリティーの持ち主だった彼は、会社のことを考え、ベッドで大人しくしていられなかったのである。彼との出会いは、四、五年前の東京青山の総会であった。私が銀座で個展をしていた時、初老の紳士から「これは新潟の風景ですか？」と声をかけられ、色々話をさせていた所、その方が四八期の片桐光太郎先輩であった。氏の勧めで、はじめに東京青山総会に自分の作品の写真集を片手に出席した。七五期は、石塚君しかい

なかったが、畑違いの世界にいる私に興味を覚えたのか、一杯やろうと誘われその日は二人で深夜まで何軒も飲み歩いた。今から思うと彼も、大日本印刷を退社し、マルチメディア研究所を設立する直前であり、独立無援の私の姿に自分を投影していたのかも知れない。明るい積極的な性格で、実業家として最適な彼は、二十一世紀の産業と言われるマルチメディアのとりわけ電子ライブラリー分野で日本の先駆的な存在であった。彼の先見性は間違いはなく、想像を越えるマルチメディア産業の拡大が、彼の肉体を徐々にすり減らしていったのではないだろうか。人なつっこい笑顔で、誰とも気さくに付き合う彼は、驚く数の人達と面識があったし、先輩や恩師を大切にす姿勢にも感心させられることが度々であった。二年前から引き受けた東京青山同窓会事務局長では、母校百周年の東京側の調整役として働き、これから同窓会でも大いに活躍してもらわねばならない存在であった。五月十八日、岩波書店の安江社長

を葬儀委員長として、青山斎場で合同社葬が行われた。二列前のご遺族がおられる席に座った私は、弔辞が読まれ、式が進むにつれ、彼がもうこの世に居ないことを改めて、思い知らされた。発病から約一ヶ月で逝ってしまった訳だが、彼らしい死に方だとも

在京新中三五會の 消息について

を葬儀委員長として、青山斎場で合同社葬が行われた。二列前にご遺族がおられる席に座った私は、弔辞が読まれ、式が進むにつれ、彼がもうこの世に居ないことを改めて、思い知らされた。発病から約一ヶ月で逝ってしまった訳だが、彼らしい死に方だとも

右記会合は、年春秋二回親睦会を重ねておりますが、昨年は、桜井貞一君、斎藤昌治君が他界、本年四月二十日、新宿小田急ハルク八階の『大志満』で加賀料理を賞味し、中学時代の旧師、旧友の懐古談に花を咲かせ互いに健康に留意し、今秋の会合を楽しみにすることを約して散会。出席者は、所用で熊倉雄三君欠席、入沢健三、岡四四亥、近藤百之、籠島秀雄、笹川正男、丸山求蔵、山名栄一、渡辺秋策、尾崎三夫の九名。

(文責 尾崎)



あなたの著作を 母校の図書館へ!!

このたび本校図書館の生徒閲覧室に「卒業生著作コーナー」を設置しました。

このねらいは先輩諸氏の活躍ぶりを在校生が、いつでも気楽に手にとりて見られるところにあります。

彼等にとって、将来の生き方とか、さしあたって、進路を決定する際の指針を与えてくれることになると思います。

どのようなジャンルの著作も大歓迎です。

皆様の上梓された著作のご寄贈によって、後輩達への心のこもったメッセージになりますので右の趣旨にご賛同の上、宜しくご配慮のほどお願い致します。

新潟高校図書館部長 皆川喜代弘

青山同窓会名簿、 青陵特集号(回顧録) 購入希望の方へ

平成五年 創立百周年記念青山同窓会名簿、青陵特集号を発刊致しましたが残部があります。購入ご希望の方は、新潟高校青山同窓会事務局まで、葉書かFAXにてお申し込み下さい。

同窓会名簿 一冊 五〇〇〇円(送料込)

青陵特集号 一冊 一〇〇〇円(送料三〇〇円)

FAX 二六六一五二六八

ドイツの息子

66回 小林裕子



帰国第一信、二月。「とても疲れて帰りました。機内サービスに『緑茶』を希望したのに、ありません」と冷めたく断られてがっかり。家族にドイツ語が変だといわれるし、またすぐ日本に帰りたい心境です」

第二信、三月。「前に一年下だったクラスにいます。この間の試験ではあまりいい点がとれず、焦っています」

第三信、四月。「自動車学校に通い始めました。実用ドイツ語の勉強に役に立つマンガを送ります。もうすぐ会えるのが楽しみです」

AFSの留学生としてドイツから来港、初めての長期の受け入れ生で母校に通うことになったセバスチャンと、一カ月間、一緒に暮らした。到来しつつある国際化社会にならう若者達が共に学ぶことの一助ともなればと、いささか殊勝な気持ちから引き受けたホストファミリーだったが、物静かで聡明で、見事に自立しているこの少年との日々はとにかくすばらしかった。

娘二人が大学生になり、久かたぶりの「高校生の母親」としての出番に、すっかり若返った気分。どこへでもセバスチャンを同道し、友人達に「実の息子みたい」とひやかされたいけれど、授業が終わると

ドイツでは、酔って騒ぐことが許されるのは若いうち、つまり、就職あるいは結婚するまで。社会人になったとたんに、おとなとしての義務と責任を厳しく要求されるから、限られたこの短い期間に、若者達は精いっぱい自己主張をし、若き故の試行錯誤を大目に見てもらえる。おとなと若者の世界が峻別されている社会と、若者に自己主張を許さず、そのかわり社会人になっても、いつまでも子どもっぽいままでいることが容認される社会と……。

涙の別れから三カ月後、夫とともにヨーロッパを回る機会があり、セバスチャンに再会した。髪をのびし、少しおとなびた感じの彼は、相変わらず達者な日本語でドイツの両親に引きあわせてくれ、私達二組の親は、良き息子を共有する幸せな家族として、二日間を共に過ごした。

ドイツに家族ができ、母校と三たびの縁でつながり、果敢にして美しいAFSスタッフの知遇も得た。セバスチャンを通して結ばれたさまざまな人びととの縁の不思議と幸せを、改めて思わずにはいられない。

五年に一回、泊まりで開催している同期会も岩室、湯沢、湯田上と行われ、今回は越後湯沢で開かれました。6月11日(土)は多少暑かったものの、昼過ぎから会場のホテルに懐かしい顔が集まり始めました。新潟はもちろん東京、北陸、京阪神と各地からです。風呂上がりにビールをのみながら、早くもPRE宴会を始めている部屋もあり、盛会の前ぶれが感じられました。出席者は40名、それに高橋豊成、宮地正樹、小田一彦の3名の先生方が加わり、計43名の大世帯となりました。六時開会の宴は、九時過ぎ一応応援歌でとりあえず終り、すぐさま二次会へ移り、その後は三次会用に設営した部屋で未明迄話はずんできました。



左二人目セバスチャン、三人目夫小林啓志66回

「実の息子みたい」とひやかされたいけれど、授業が終わるとドイツでは、酔って騒ぐことが許されるのは若いうち、つまり、就職あるいは結婚するまで。社会人になったとたんに、おとなとしての義務と責任を厳しく要求されるから、限られたこの短い期間に、若者達は精いっぱい自己主張をし、若き故の試行錯誤を大目に見てもらえる。おとなと若者の世界が峻別されている社会と、若者に自己主張を許さず、そのかわり社会人になっても、いつまでも子どもっぽいままでいることが容認される社会と……。

涙の別れから三カ月後、夫とともにヨーロッパを回る機会があり、セバスチャンに再会した。髪をのびし、少しおとなびた感じの彼は、相変わらず達者な日本語でドイツの両親に引きあわせてくれ、私達二組の親は、良き息子を共有する幸せな家族として、二日間を共に過ごした。

ドイツに家族ができ、母校と三たびの縁でつながり、果敢にして美しいAFSスタッフの知遇も得た。セバスチャンを通して結ばれたさまざまな人びととの縁の不思議と幸せを、改めて思わずにはいられない。

五年に一回、泊まりで開催している同期会も岩室、湯沢、湯田上と行われ、今回は越後湯沢で開かれました。6月11日(土)は多少暑かったものの、昼過ぎから会場のホテルに懐かしい顔が集まり始めました。新潟はもちろん東京、北陸、京阪神と各地からです。風呂上がりにビールをのみながら、早くもPRE宴会を始めている部屋もあり、盛会の前ぶれが感じられました。出席者は40名、それに高橋豊成、宮地正樹、小田一彦の3名の先生方が加わり、計43名の大世帯となりました。六時開会の宴は、九時過ぎ一応応援歌でとりあえず終り、すぐさま二次会へ移り、その後は三次会用に設営した部屋で未明迄話はずんできました。

明けて12日(日)はゴルフのグループ、のんびり帰る者、アルプの里を散歩する者等、思い思いのコースで再会を約して帰途に付きましました。なお、今回は変則的となりますが、6年後の60才の時という案が出ています。

明けて12日(日)はゴルフのグループ、のんびり帰る者、アルプの里を散歩する者等、思い思いのコースで再会を約して帰途に付きましました。なお、今回は変則的となりますが、6年後の60才の時という案が出ています。

卒業35周年同期会

67回 渋谷精衛



明けて12日(日)はゴルフのグループ、のんびり帰る者、アルプの里を散歩する者等、思い思いのコースで再会を約して帰途に付きましました。なお、今回は変則的となりますが、6年後の60才の時という案が出ています。

明けて12日(日)はゴルフのグループ、のんびり帰る者、アルプの里を散歩する者等、思い思いのコースで再会を約して帰途に付きましました。なお、今回は変則的となりますが、6年後の60才の時という案が出ています。

明けて12日(日)はゴルフのグループ、のんびり帰る者、アルプの里を散歩する者等、思い思いのコースで再会を約して帰途に付きましました。なお、今回は変則的となりますが、6年後の60才の時という案が出ています。

明けて12日(日)はゴルフのグループ、のんびり帰る者、アルプの里を散歩する者等、思い思いのコースで再会を約して帰途に付きましました。なお、今回は変則的となりますが、6年後の60才の時という案が出ています。

青山バスケットボール 七〇周年記念会

67回 高橋直也



挨拶しているのはOB会会長小川清常氏（48回卒）
会長の右隣でパンフレットを見ているのが初代会長堀保利氏（昭和2年卒）です
尚、左隣は新潟高校瀧澤強一校長です

大正十二年四月の北越新報で新潟県内のバスケットに関する記事がはじめて載っている。わが母校の部員でもっとも古い方は大正十四年卒のお二人である。だいたい県内の

バスケットの草創期と合致していると思われる。旧制新潟中学校に籃球部が創られて七〇年目をむかえた今年の春、記念のイベントが行われた。六〇周年では岐阜農林高校を呼んだが今回は「せっかく招待するなら全国

のトップレベルの学校を」ということで、昭和四十二年埼玉国体初優勝以来、全国の大

会で優勝三十七回という輝かしい実績をもつ能代工業高校を招いて、三月二十六日（土）鳥屋野体育館で記念試合を行

った。昭和四十六年に旧制新潟中学校と新潟高等学校のバスケットOB会が発足して二十三年

が経ち、五〇〇名を越すOB・OGが会員名簿に登録されている。当日はその内一〇〇名

程の仲間が体育館に集まり七〇周年記念行事を心から喜び、後輩の健闘に暖かい拍手を送った。先取点は取ったものの力の差は誰の目にも明らかであっ

た。ゲームの進行とともに点差は開く一方、大差で試合終了。しかし親善試合にもかかわらず最後までメンバーを落さずスピード感あふれるプレーを披露してくれた能代工業の皆さんに心からお礼を言いたい。尚他に高崎高校、新潟南高校が参加した。

また同夜、祝賀会がホテル新潟で行われた。県・市のバスケットボール協会の役員の方々と歴代顧問の先生方、さら

らに新潟高校の樋浦教頭先生をお招きし、昭和二年卒の堀初代会長から平成四年卒の若いOBまで各層にわたって一

〇〇名余の会員が十年ぶりの記念祝賀会での再会を喜んだ。小川会長の挨拶でセレモニー

がはじまり深更まで盃をくみかわした。孫以上にも年の差のある会員がバスケットを通

して、話題が生まれ、笑顔が絶えず、自分たちの過去の実績を自慢し合う、こんな素晴らしい組織の一員であることに私は誇りをもち、最後に全員で『ますらお』を二回唄い散会した。

去年から今年にかけて、私の陶芸作品と兄の写真で二人展を開催し、つづいて兄弟姉妹五人で、夫々の作品やエッセー、寄稿文等を編集した

「はらからの詩」を発行したのが、編集子の目には趣味を持つ者と映ったのでしよう。一般的に趣味というのは好き

きで楽しくなければならぬと思いますが、私のは好きで始めたのではなく、仕事から

離れてからの暇潰しとして始めたものなのです。動機は悪かったし好きでも

なかったのですが、陶芸作品はこの十年間で何回か市や県の公募展に入りました。元

来芸術的感性など全くない私が、無い知恵を絞って構想を練り始めてから、焼上る迄の

半年間は心身ともに大変な毎日です。相手は県展賞や大賞をめぐって精進するプロの工芸家や、県内地場産業で腕を

磨く作家達です。素人の私が、ただの入選を夢みて創作するのは「趣味」ではなくて「苦

私の趣味

46回 横山隆二

しみ」でしかありません。何でもわかりません。もう一つの絵になると少し

様子が違います。うはただ暇々に描いてグループ展や、公民館の文化祭に飾るだけです

から気楽なものです。スケッチ旅行会のことなどは絵の仕上げで大忙しです。

以前は額縁に入れても、身内の者はもらってくれませんでした。今は少し評価も上って、御馳走しなくとも賞めて

くれる時もあります。こうなると嬉しさや楽しさもできて、今や漸く趣味のような気

になりかけてきました。ゴルフはもう三十年もやっていいますが、これが美術工芸

と違うところは、年令と共に腕もスコアも落ちることです。たまに九〇を切るとその日は楽しくゴルフですが、何せ日変わりゴルフです。すから、すぐ次には百叩きでガツクリ

趣味と言えよう。要するに私にとって趣味と言

えるのはゴルフ。陶芸は苦しみ。絵はやや趣味となりかけというところでしょうか。

併し一番気をつけなければならぬのは「ア奴ツは趣味が悪いネー」などと蔭口を言

われないことではないでしょうか。でも知らないのは本人だけで、案外に言われているのかも

……。創部40周年の折、現役員とOBが集い、共に山行が実現出来ないかとの要望があり、

第一回の合同山行を下記の通り計画いたしました。体力に

応じては、ベースキャンプでのキーパーも歓迎します。多くのOBの参加を望んでご案内致します。

日時 平成六年九月十七日（土）～十八日（日）
会場 巻機山登山口（桜坂駐車場）現地集合

会費 三、〇〇〇円
その他 食事・飲物は合同、
OBは小屋泊。

新潟高校山岳部
現役・OB合同山行案内

卒業三十周年の72回生

72回生は今年卒業後三十周年を迎えます。そこで72回生の二人の方に原稿をお願いしました。お一人は日航のジャンボ機の機長をとめる斎藤氏。現在B747の機長として主としてヨーロッパ線を担当しています。新潟上空を飛

バード ストライク

72回 齋藤俊正

(日航機長)

一九八二年十一月二十八日午後六時十分。機長昇格訓練を終えた副操縦士の操縦で五二三便は、暗くなった羽田の滑走路三三Rから千歳空港へ向け静かに滑走を始めた。機速が『V1』（ブイワン）離陸決心速度。『VR』（ブイール）引き起し速度。『V2』（ブイツー）安全上昇速度へ加速すると機は丁度空中に浮揚する。電波高度計でも離陸を確認、ギアレバーを上げた。メインギアとノーズギアのアップロックがかかった微かなショックと同時に、機

体が激しく振動を始めた。ギアの操作と全く同時だった為、ギアシステムの故障だと判断してしまった。『これは大変だぞ』アメリカでの小型機訓練中に体験した片足着陸の事が頭によぎった。

伝えてきた。私は機のシステムと上昇旋回をモニターしながら、薄暗いコックピットのFEパネルの方に目を移した。『煙の様なもつと焦臭い匂いがする。原因は分からない。ローパスをするのでギアの目視点検を依頼する』と即座に応じた。ギアの故障なのに何故火が目撃され、煙が発生したのか全く不可解だった。

三千フイート、針路一五〇度のダウンウィンドレグで、私が操縦を交替した。やや振動は減ったものの一体何が起っているのか全く分からない状態

だった。当日は初仕事のセカンドオフィサーが航空機関士の業務を担当していた。ローパスの為にランディングゲータを用意させ、手短かいブリーフィングを終了。ILSを使って高度三百フイートのローパスに入った。タワーの横をフラップ二二・ギアダウン、速度百七十ノットで飛ぶと、空港を約一分で通り過ぎてしまふ。空港の北端で上昇に入る為エンジンの推力を上げた。再び強い振動が発生した。コックピットの三人は何かを感じた。『原因はエンジンか？』第一エンジンの不都合が計器と他の状況から確認できた為、直ちに停止した。この処置で振動は消えた。タワーが『地上スタットの準備が整わず、ギアの目視点検はできなかつた』と伝えてきた。我々は残された二基のエンジンで再びローパスをする事になった。

暗い空、高速で飛行する機体の一部分を地上から点検する事は殆んど不可能に近い。二度目のローパスでも、ギアの正確な状況は確認出来なかつた。ギアが故障したまままでの着陸は非常に危険な為、機体の重量をできるだけ軽くする。よう燃料を投棄する事にした。タワーの許可を得て五千フイートで御宿に向けて飛行中タワーから『滑走路の途中に鳴らし二羽の鳥の残骸が発見された。ギア、その他の構造部材は発見されていない』と報告を受けた。

この事が全ての謎を解明する糸口を与えてくれた。即ち
 ① 暗夜の為に我々には鳥の存在と、その衝突が分らなかつた。
 ② ギアの作動と同時に鳥の群の一部が第一エンジンに吸い込まれ、ファンブレードが損傷、一瞬エンジンストールと火が発生。激しい振動が機体全体に及んだ。

③ 吸い込まれた鳥の一部は、エンジン内部で粉碎され、コンプレッサの高圧、高圧のガスで焦げた後、空調システムを通過してコックピットに侵入し、煙と匂いが発生させた。
 ④ ギアはそれまでの作動状況から正常であろう。結局燃料投棄を中止した。しかしギアシステムへの不安が残る為、緊急事態を宣言して、消防車等の準備が完了した滑走路に着陸した。消防車群の赤いライトが後方に消え去った。陸上のスタッフ全員を統括してくれたタワーに『サンキューベリーマッチ。フォーユー、アシスタント。』と感謝の意を伝えながら自力でスポットに入った。

フライトクルーの万全なチームワークと、多くの地上スタッフの援助なしでは、飛行の安全は成り立たない。航空機は極めて特殊な乗り物なのだ。人間は勿論、機械の特性と限界、美しい自然美に隠された自然の脅威、それらの全てが複雑に絡み合った時間と空間の中で、事実だけが時間とともに、進行している。事実を冷静に見極め、適確なミスのない判断を実行する事が我々に求められている。



B747コックピットでの齋藤機長

「陸の孤島で」

72 回 渡辺玄弥



私が父のやっていた養鶏の仕事を始めから、いつのまにか二十五年が過ぎてしまった。私は長男ではないので学生の頃は特に故郷の亀田に戻るといふ気持はなかったのだが、兄が、どうも鶏は自分に向いてないので、私に、お前は子供の時からおやじと一緒に鶏小屋を修理したり、鶏の卵集めをしたり餌や水をやったりしてたのだから俺の代りに家に帰って跡継ぎをしてくれ、といって東京に就職してしまいました。兄の言う通り私は小さい時から鶏や山羊の世話をしてきたので、何んの抵抗もなく卒業と同時に故郷に帰り父の仕事の手伝いをした。

手伝いをした、というよりも当時父は胃癌の手術で入院したので私は卒業式にも出れなくて帰省して仕事をしてきた。今もそうであるが人間の風邪のインフルエンザのワクチンを作る原料は鶏の有精卵である。その頃はワクチンを量産した初期の頃であったので有精卵であればなんでもよかつた。家の裏の鶏舎で採った卵の他に近隣の農家から購入した卵も孵化機という雛にかえず機械の中に入れ、加温して卵の中に胎児が発育したのをワクチン原料として製薬会社に販売するのが仕事であった。帰省して二年後父が亡くなり、その頃からワクチン接種により発熱するという問題が生じ、その原因はアレルギー体質とワクチンの品質の点にあることがわかり、原料である卵も良質なワクチンを作る為に細菌汚染の少ない卵を生産する必要がある。それまでは汚れた卵は洗って消毒して使っ

ていたのだけれど、一度卵殻の中に入った細菌を除去するのは難しい。その為はじめから細菌の入っていない卵を生産するに飼育方法や飼育環境を変えなければ解決しなくなり適当な場所を探して全量自家採卵する農場を造ることにした。丁度周囲を田に囲まれた畑があり、そこに鶏舎を建築した。それ以来二十年ワクチン原料の卵を生産している。最近では有精卵を採る平飼いの施設を利用して会甲卵の生産もやり、抗生物質無添加、無洗卵で高鮮度の卵を生協や農協等の団体に出荷している。この仕事も食品に対して関心の高い人達が相手なので生産者としても、出来るだけ消費者の期待する品質の卵を生産するよう努力している。鶏卵価格が終戦直後の価格とあまり変わらず物価の王様といわれ感心されたりあきれられたりしているけれど、大きな理由は機械化による合理化と、生産性の高い鶏を作る育種改良が進んで以前よりも一羽当り年間同じ給餌料で百ケも多くなるとなってきた。近年の貿易の自由化によ

り農畜産物の輸入が急激化に増えている。これは多額の貿易黒字の解消の為全体的には微々たる金額の農業分野でも次から次へと門戸を開放してきている。牛肉に至っては関税化五年目で自給率四十八%にまで減少している。日本の畜産はその飼料は九十七%以上海外に依存している現状な

り農畜産物の輸入が急激化に増えている。これは多額の貿易黒字の解消の為全体的には微々たる金額の農業分野でも次から次へと門戸を開放してきている。牛肉に至っては関税化五年目で自給率四十八%にまで減少している。日本の畜産はその飼料は九十七%以上海外に依存している現状な

三十年を迎えた ガルベストン市との 友情

67 回 永井健司

(新潟・ガルベストン委員会会長)

この機会に新潟が一番初めに姉妹提携をしたガルベストンへ行きませんか？新潟大好き人間のガルベストン市民が心から歓迎してくれるはずですよ。

ので何んとも言えないが、日本人の主食であり、完全自給出来る「米」まで自給放棄するということは農業に対する政治の貧困さと日本人の世界中の資源の使い捨てのせい沢のつけが今になってまわってきたのではないかと、田の真ん中の陸の孤島で考えたりしている。

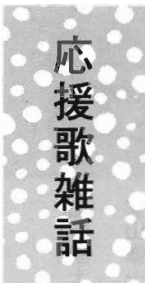
当時のアメリカ文化センターの館長さんの出身がテキサスだと云う事でメキシコ湾に面した古い港町ガルベストン市（人口六万）と一九六五年に姉妹都市提携をしてから来年の一月二十八日で三十周年になります。それを記念して気のいいアメリカ大好き人間達の集まりである我が委員会は①記念誌作り②イベント③ガルベストン通り命名④ガルベストンカーニバル（マルディ

グラ）参加と云う四本柱で一年も前から準備して来ました。特に来年二月二十三日（木）二十八日（月）のガルベストン最大のお祭のテーマが日本を中心とした極東と云う事で、新潟から百人の団体でお祝を云いに行こうと云う事になりました。成田発着・ホテル・朝食付で十三万九千円で。オプショナルツアーもありますし、マラソン大会も、ゴルフ大会もあります。是非

六十何回かの卒業生である甥の本社転勤を祝って杯を交したときの酒の肴話である。昨年彼の姪が母校に入ったのは同窓が数人いる一族で約三十年ぶりのことで嬉しかったが、その姪から応援歌を歌って教えて欲しいと電話があった。電話口ではどうも格好がつかないので断ったが、その後「叔父様は意地悪」ということになっているらしいという。

電話口で歌って欲しいとまで叔父に頼むにはどんな事情があったのだろうか。いずれにしても応援歌のために新潟から当時彼が住んでいた中京地方まで電話するような雰囲気は母校にあるとすれば、応援歌を愛する卒業生としては喜びに耐えないところである。

(応援狂)



応援歌雑話

スーブニール (新中時代の思い出)

35回 五十嵐久四郎 (旧名久衛)

思い出に思い出のを書綴り過去の懐かしき事を思う。これも一つのロマンか。

小生新中へ入学したのは大正十二年。この年は九月一日に関東大震災があり決して忘れる事のできない年だ。小生等は前年落成したばかりの校舎に学んだ。グラウンドの裏

はすぐ松林でその先に小高い砂山がありそれを越えて二、三百米位歩いて海なのだ。今は新築された現代建築であり一寸昔の事は想像できない。

校舎の裏にグラウンドがあり、北西の方に野球練習場、その北側は二〇〇米の陸上のトラック、他にテニスコートが二、

三面あったようだ。野球の打撃練習の時には打球が真直前の寄宿舎の食堂のガラスを再三再四割ったものだ。その延長が新潟の早慶戦と言われた

野球の試合であり、今の寄宿中のところに協会グラウンドがあり、全校の生徒が参加す

の全国大会に出場した。

旧校舎の二階にあがれば前は全部畑か田園であり、長江

信濃は眼前に見え右手に弥彦

角田の連峰が見えた懐しい景色でした。いづれをとつても

懐かしい追憶ばかりで頭の中

は走馬灯の如くクルクル廻る。

そして進学率も相当高く全国

でも優秀な序列に入っていた

ようである。小生が菓専に入

学した時は友人が「君そんな

に良い学校からどうしてこんな

な学校へ入った」と言われた

記憶がある。

尚、裏の砂山の枯草に火を

つけて草を焼いて喜んでいた

がなかなか消えないので困っ

ていたら齋藤大尉(仇名シャ

モ)が抜剣して走って制圧に

来られた時があつたが運良く

消え、勿論私達は十五六人い

たが犯人が出る訳がない。こ

んな事もあつた。悪いいたず

らの一齣であつた。

時代は変つた。今更この年

令になつてビジョンも何もな

く懐古のみを楽しむ現状であ

る。本当にスーブニールが只

なつかしいだけだ。

青山ゴルフ会(鈴木杯) 94年春の大会

梅雨入りしたのに快晴の六月十六日、中峰ゴルフ倶楽部

で開催。59回卒の飯塚さんか

ら81回の片桐さんまで32名の

参加で、楽しく、にぎやかに

行われました。ダブルペリア

の個人戦、優勝は64回忠 昭

男さん、準優勝は75回富山修

一さん、シニアレディス優勝

は60回斉木守雄さん、準優勝

は60回小林昭二さんでした。

一九八六年(昭和六十一年)

春に初めて開催され、毎年春

パートナーの驚喜によりやく『大変な会で大変なことをしてしまつたな』と妙に困惑したのでありました。

秋二回つづ楽しんで来たこの会で、十七回目の今回初めてホールインワンができました。ご本人富山さんのコメントも戴きましたが、おめでとうございしました。夜の表彰式「雪国」でもこの話題と、参加者の自己紹介で盛り上がりました。次回十八回秋の大会は紫雲ゴルフ倶楽部で十月十三日(木)開催されます。問い合

わせは事務局まで。最後にになりましたが植木姉、加藤、堀の長きパートナーに感謝致しますと共に、夜の割烹「雪国」の表彰式にて諸先輩から心温まるご祝儀を頂戴しましたことを申し添えさせて頂きホールインワンの報告

とさせていただきます。

大変な事を してかして

—ホールインワン始末記—

75回 富山修一

確かにホールインワンは出

そうと思つて出せるものでは

無いという事が良く分かりま

した。

六月十六日快晴のもと中峰

ゴルフクラブにて開催されま

した青山ゴルフ会のアウト2

番で、ピン手前三センチでバ

ウンドしましたので、てっき

りオーバーしたものだと思ひ奥



加藤勝士
富山修一
岡田尚子
堀一

男女共学になった頃

本校で、昭和二十六年四月から二八年三月まで社会科担当教諭をお勤めになった村山正先生は、長野県教育長在職中に藤ガンに罹られ辞任後間もない平成元年二月逝去された。その七回忌にあたって先生を追悼する文集「実ちて帰る」が元長野県松本嶺ヶ崎高校校長林雅彦さんによりとり纏められ去る二月刊行された。先生が職務に関連して書かれた遺草及び弔辞のほか、友人知己、教え子等による追悼文五十六編が収録されている大部のもので先生のご遺徳の高さが偲ばれる。本校関係では渡辺秀英先生が題字をお書きになり、教え子として私と六一期の関根 理君が思い出を記させていただいた。さて村山先生の奥様は先生と一緒に新任教諭として本校においでになった(旧姓)長沼久子先生である。ご結婚とともに村山先生は新津高校に異動された。あの頃のことを思い返してみると、本校にとって一つの転換期であったと思う。本校は、前年から男女共学になり一期下に

八人の女生徒が入学したのに続きこの年には一七人の女生徒が入学、初めての女の先生として長沼先生が登壇になった。学卒新採用の先生が多かった年で長沼先生のほか村山正、松沢昭然、遠藤丈夫、飯利雄一の諸先生が一緒である。戦時中の修学年限の短縮のせいか平均年齢二二才、長沼先生は二〇才というお若さであった。若い先生は生徒に人気がある。ことに綺麗で颯爽とした長沼先生は皆の注目の的だった。私は昭和二六年四月から翌年三月まで村山先生から社会科の「時事問題」を教わった。先生の授業は真面目で斬新なものであった。当時は世界的に米ソ対立、冷戦が激化し、国内でも米国の軍事力の傘下に入る単独講和か、一方に組まない全面講和を求めるべきかで国論が激しく対立した時代で時事問題の授業はやりにくかったと思う。ある日の授業で先生は単独講和、日米安保は憲法の平和主義に違反し新戦争にわが国を巻き込むおそれがあると

村山先生の思い出

60回 坂井丈夫

(東京都環境保全局 環境管理部)

され「私は戦時中兵隊になるのが厭で、高等学校は理科をえらび、戦後文科に転じた。ある意味では卑怯者だ。同じ世代で戦死した者は多い。だから戦争には絶対に反対、これは生き残った者の義務だ。」とおっしゃって私は感動した。私は終戦の年に満州国奉天第一中学校に入学し、翌年引き揚げてきて新潟中学校一年生がいて私は厭だった。負け

を聞き、満州の中学で終戦後「入学するや陸軍幼年学校、次には予科練、さらには陸士、海兵とひたすら軍人として戦陣に死することを生徒に求めてきたわが身を恥じる…」という遺書を残して自決した先生がいてこれに比べ要領がよすぎると思ったのである。また気に入った生徒に頬擦りしたり接吻をする真似をする先生がいて私は厭だった。負け

日の開校記念日に余暇として新一年生によるダンスの演技が行われることになった。我々は大いに期待した。女生徒が講堂でダンスを踊るとは、開校以来初めてのことである。幕が開き可愛い女生徒が現われた。見ると同級の入山君の妹さんである。レコードが鳴りダンスが始まった。私は次第に全身がむず痒くなってきた。なんと曲は童謡アヒルノオヤコであった。

「：オイケデジャブ ジャブオセンタク」一種のどよめきと「あれ、なんや」「マイタマイッタ」というつぶやきが講堂一杯に広がった。後日、デンチンとトオルが「入山のオバが講堂で幼稚園のお遊戯を踊ったところからうちの学校は駄目になってきたんだて」「あれは踊りの学園(当時新潟では有名な幼女に舞踊を教える学校)が温習会でやる踊りだがね」と話していた。この踊りのことは卒業後も種々指導をいたしてくれた。長沼先生は音楽科を担当されダンスの指導をなさった。この年の七月一題にしたとき皆がこの日のことを思い出した。先生は「長沼先生は学校では勉強ばかりしておられたのさ。ダンスなところがなかったんしゃあないの。」と笑いながらおっしゃった。この日踊った入山栄子さんは、卒業後われわれと同期の大井テンドン君と結婚した。当時その由縁について諸説乱れ飛んだが、最も多数を占めたものは「押しかけ女房」である。そして村山先生と長沼先生についてもこの説が適用できるのではないかと私は密かに思っている。あの真面目で一見朴訥な感じさえ受ける村山先生が女性を上手に口説く場面は想像し難いのだ。もっとも「恋はのろまを素早くすく」中野重治」というから真相はわからない。実はこのことは亡き先生に三十余年間幾度となく尋ね、遂にお答えを戴けなかったことでもある。良いご夫婦であった。文集に寄せられる夫人の亡き夫君に係る思いを綴った文章は読む者の心を撃つ。それにしても行年六一。若過ぎる、なんぼなんでも早過ぎる。

出 会 い

85回 高須洋子

今年の北陸地方は例年になく晴天が続いている。母校に赴任して、早二か月半。恒例の青陵祭の時期になり、ふと自分の高校時代を思い出す今日この頃である。

思い起こせば今を去ること二十年、新潟高校に入学した当時は、まさか将来自分がこの高校の教壇に立つことになるうとは（それも日本史で！）思いもつかなかった。それがこうして教える毎日。縁とは不思議なものである。

もともと教員志望ではなかった自分が教職の道を選んだのは、やはり高校時代の諸先生方の影響が大きい。私は三年時、国立文系で（因みに当時のクラスは女子が8人。文系でこの程度であるから、理系は推して知るべしである。従って赴任後初めて女子の方が多いクラスに出た時は隔世の感があった。）その私達のクラスの歴史担当が関根彰圓先生、松沢昭然先生、星智信先生であった。

選択の關係上、世界史に関しては原始古代より関根先生、絶対主義から松沢先生と同時並行で始まった。両先生共、碩学、面白い授業にすっかり皆のめり込んでしまったものだ。尤も日によつては両先生の授業が続いてあり、メソポタミアと三十年戦争の切り替えに苦労もした。（この四千年の隔たりは大きかった。）

関根先生の最初の時間は、未だに忘れられない。世界史の教科書一冊もつて現れた先生は、授業の最初に「何か質問はありませんか？」と一言。問はありませんか？」と一言。こちらは全くの一時目なもので呆然とする許り。さらに先生は二度程「質問は？」とおっしゃったように思う。それに對しても静まり返るクラスに大音声の一喝。「勉強する気はあるのか？」と怒られ教務室に戻ってしまわれた。級長が慌ててお迎えに上がったのだが、それ以来私達は質問捜しに躍起になり授業はいつも活気に満ちていた。（後年当

時のクラスメートに会うと良くこの話が話題にのぼった。）関根先生と对象的に松沢先生は実に温厚、もの静かに授業され些細な点まで丁寧な御説明下さり、まさに博学多才の方であった。また、日本史は星智信先生の資料満載の授業であった。



科志望が変わっていたのであった。この出会いがなければ全く別の道を行っていたと思う。諸先生方の授業を受けられたお陰で、今、教壇に立っている自分がある。

先生は教科書に出てくる史料書物など、原典をひいてプリントを作つて下さり、その枚数は膨大なものであった。明治期には「星家」の地券の本物まで持参して見せて下さりそれは印象に残った。今となって漸く先生の御苦勞に思い至っている。（星先生には縁あつて講師時代にもお世話になり、また、教員になってからも何かと御丁寧な書簡を戴き気配り戴いて、本当に恐縮している。）

青山ゴルフ会に誘われて

69回 岡田尚子

同期の大森ゆかりさんから「同窓会のゴルフがあるんだけど来られない？ 69回が今回皆都合が悪くて」「……ん」「女性が居ないから出たら二人でシニアレディス優勝と準備勝負貰えるから」この殺し文句に「じゃあ行く」と返事をしてしまいました。

自分が受けた授業を思い出す。当然乍ら、比ぶべきもない内容に反省の毎日である。それでも、諸先生方を目標に少しでも近づこうと、努力していきたい。

同期の空の青さ、新潟の空は本当に澄んできれいですね。中峰ゴルフ場でメンバー表を頂いたら、何と60回のホヤホヤのシニアがわんさかいらつしゃるではないですか。準備勝の夢も、あっさりバブルの如くはじけ飛んでしまいました。

同期の75回堀、加藤、富山の三氏。初対面でも同窓の気安

さで少々の足の引っぱり合いをしながら楽しく回って居りました。ところがアウトの2番、富山氏の打ったボールが真直ぐピンに向かって行ったと思つたらバンカー方向に見えなくなり「アララ、ちよつと大きかったかな」程度で四人でグリーンに向かつてみると、バンカーにもどこにもボールは見えず、すると突然堀氏がカップの中を指さして「ここ、ここ！」それからほもろん皆様の御想像通り。

編集後記

▲皆様、今年の夏はいかがが過ぎですか。混沌する政局に停滞する景気、スカッとしたつゆ晴れを待つ心境ですネ。

▲地域にとけこんで、地味な奉仕活動をつづけられた平田先輩に総理大臣表彰。本当におめでとうございます。

▲東京青山同窓会事務局長として先輩と若手を結ぶ絆であった、石塚氏、その早すぎる、突然の訃報、残念でした。ご冥福を祈ります。

▲卒業三十五年の六十七回、幹事石田が会報編集委員のため、遠慮して小さな報告となりました。宴会での出席者のスピーチはのせていませんが、年輪を伺わせる仲々のものでした。

▲卒業三十年の七十二回生には異色の二人に寄稿を依頼。

▲35回五十嵐さん、46回横山さん、60回坂井さん、66回小林さん、67回高橋さん、85回の高須先生と、依頼原稿あり寄稿ありと様々です。ありがとうございます。読みごたえはいかがでしたか。

▲富山さんのホールインワン、趣味の仲間とのたのしい一時。青山ゴルフ会もいいですね。

▲今後とも、会報へ異色の同窓消息や、簡にして要を得た寄稿をお待ちしています。（石

ハイティーン水泳・新中新高

60回 平田大六

33 新潟商高プール

一九五〇年高校二年夏。私が保存している賞状やメモによれば、この年、私が出場した県内の大会は八つ、リレー以外で泳いだ長距離種目一六レース、優勝一六回、大会新九個、という「華々しい」戦果であった。

どちらかといへば私は、シーズン初めで前年のベストタイムをクリアする早生(わせ)のほうであったので、六月下旬頃の地区大会は優勝するチャンスであった。

この年の下越地区の会場は新潟商業高校の二十五メートルプールだった。泳ぎやすいプールとそうでないものがある。このプールは泳ぎにくかった。それは、プールサイドが高く穴の中で泳いでいるようであり、しかも水深差があり波の調子が一定でない。

私は、大黒善弥(50回)監督から、三百メートル混継泳のアンカー出場も云い渡され

ていた。その頃の混継は、背かリードされて入ってきた。泳、平泳、自由型の三人が百メートルずつ泳ぐもので、私は自由型であった。通常は自由型は、短距離選手がとめるもので、私のような長距離選手がやるのは異例である。

私が八百メートルをゴールすると、つづげさまにすぐ、リレーの呼び出しコールの放送がはじまった。すると大黒監督は、平田が八百をあがったばかりなので一〇分間の休けい要求のため、本部へ走ってゆかれた。それは否。「長距離選手が三百リレーのアンカーやるなど前例ない、と云われたわや。もういいすけ、平田は好きなように泳げ」。

これで、監督はレースを投げ捨てしまった、と私は察した。「アンカー平田君」の放送で場内がざわついた。これ喜んでチームもいるようだ。八百メートル後の私の呼吸の乱れも回復していない。レースがはじまった。背、平と相手の新商チームにわず

かにリードされて入ってきた。新商のアンカーは遠藤選手だ。短距離専門でピッチが速い。まともな方法では、私に分(ぶ)がない。私は、ターン(折返し)の動作に時間がかかるほうなので、水中でやることにした。現代では長距離選手でも水中ターンが多いが、当時は短距離でも「水中」はめつたにやらない。それは、水中では一呼吸できないから苦しいのだ。

遠藤選手が先に引きついで水に入ってゆくのを、私はスタート台で目で追いながら飛びこんだ。相手の激しいスタートダッシュで差がひろがってゆく。一回目の「水中」で私は差をとりもどした。50メートル二回目のターンで腰のあたりに食いついた。私の、八百メートルの疲れが徐々にとれてきた。後半戦。三回目、最後の水中ターンで並んでしまった。それまで。あとは、短距離選手と長距離の私との差であった。

ゴールすると、黒いサングラスをかけた大黒監督が私をひきあげてくれ、やった！おまえのレースを見ていたら涙が出てしまうでしょうし(笑止)でメガネかけたんだわや、と呼ばれた。

プールサイドを急ぐ私に観衆の目が集ってきて、このレース中に上(おか)で起っていた興奮を私ははじめて知った。シーズン後半、私は再びこの新商プールでデッドヒートを味わうことになる。(つづく)

後輩の活躍

薬科玲子さん(卓球) 綾子

揃って インターハイ出場

県総合体育大会(上位入賞)

◎陸上

男子110H 4位

石山匡美

400H 3位

奈良井省太

女子100M 4位

佐々木夕美子

200M 5位

佐々木夕美子

◎卓球

女子団体 2位

W 3位 薬科玲子・綾子

個人 1位 薬科玲子

2位 薬科綾子

(インターハイ出場)

◎ラグビー

3位

◎柔道

中量級 2位 佐藤大彦

軽量級ベスト8 河内祐樹

◎登山

優秀校

◎庭球

男子団体 2位

W 3位 田中・山崎

3位 桜井・大倉

S 2位 田中雄一郎

(インターハイ出場)

ベスト8 桜井 毅

ベスト8 山崎洋大

◎フェンシング

男子団体 2位

サブプル3位 関口健之介

6位 原 重敏

4位 千田洋平

エペ 4位 千田洋平

女子団体 1位

フルーレ1位 米岡紘子

3位 斎藤 結

4位 金子佳美

6位 堀彩統子

S スカル 2位 富樫孝文

3位 宮田 恭

◎野球

北信越野球大会県予選2位

◎北信越大会(上位入賞)

◎陸上

男子110H 4位

石山匡美

(インターハイ出場)

400H 8位

奈良井省太

女子200M 8位

佐々木夕美子

◎卓球

女子団体 ベスト8

個人ベスト8 薬科玲子

◎庭球

男子団体 ベスト8

◎その他

◎放送 第41回NHK杯全国

高校放送コンテスト県予選

ラジオ放送番組部門自由

4位(全国大会出場)

◎囲碁 全国高校囲碁大会県

予選兼段級位認定大会

男子団体 1位

個人 2位 等原恒則

3位 大山泰幸

女子団体 1位

(以上、全国大会出場)

段級位認定戦Bブロック

1位 庭山亮一

平成六年 大学入試事情

今年十八歳人口が減少期に入って二年目の大学入試で...

考えますと隔世の感がありません。また、社会構造の変化は...

さして、新潟県の進学率は二十六%台と全国順位では最下位に近い状態にあります。

今年の特徵としましては難関校への合格者が増加したことであります。特に東京大、京都大へ現役で十六名の合格者が出ましたことはこの十数年間なかったことであります。

次に私立大学については首都圏の主たる大学を中心に志願者、合格者ともに人数が減少しました。この状況は全国的流れとも一致しています。

平成 6 年度入試 大学合格者数

Table with columns for university type (National, Public, Private), university name, and number of students. Includes a total row at the bottom.

() 内は現役

生徒にはまだまだ潜在する能力があり、それらを引き出すの必要や大切さを感じています。

今後とも同窓の皆様の一層 (進路指導部長 中村新平)

平成五年度 青山同窓会会費納入者追加分

(1月より3月までに納入のもの)

納入先

郵便振替口座 (00650-7-4455) 青山同窓会 第四銀行学校町支店口座 0275210 青山同窓会

Table listing names and amounts of additional contributions for the 5th year of Heisei.

Table listing names and amounts of regular contributions for the 5th year of Heisei.